

課題および改善の視点		9年間を通して、相手の立場に立って思いやることのできる児童・生徒の育成		
学年・主題・内容項目	教材名	ねらい	学習活動	
1年	【あいてに しんせつに】 B (6) 親切, 思いやり	14 はしの うえの おおかみ	うさぎやきつねに意地悪をしていたおおかみが、くまに親切にされて心を入れ替える物語を通して、相手に親切にすることのよさについて考えさせ、他者を思いやり、誰にでも親切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	★あいてに しんせつに すると、どんな きもちに なるでしょう。 ○くまに会って、おおかみの気持ちはどのように変わったのかを、はじめの「えへん、へん。」と、後の「えへん、へん。」の気持ちを比較して話し合わせる。
	【やさしい きもちで】 B (6) 親切, 思いやり	29 くりの み	うそをついたきつねが、うさぎの優しさに接して心を揺さぶられる姿を通して、温かい心をもつことの大切さについて考えさせ、相手に親切に、思いやりをもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。	★こまっ ている ひとの ために、どんな ことが できると いいでしょう。 ○きつねがこの日、日記に書いた内容を想像して書く。
2年	【あいてを思いやっ てる】 B (6) 親切, 思いやり	2 ぐみの木と小鳥	病気のりすに、嵐の中でもぐみの実を届ける小鳥の姿を通して、親切にしたり、親切にされたりすると、どんな気持ちになるかを考えさせ、身近にいる人に温かい心で接し、親切にするための判断力や心情を育てる。	★親切にしたり、親切にされたりすると、どんな気もちになるでしょう。 ○りすになったつもりで、小鳥に向けて手紙を書かせる。
	【思いやりの心で】 B (6) 親切, 思いやり	17 こまっている子 がいるよ	困っている子を描いた二つの場面を通して、誰かが困っているとき、自分ならどうするかを考えさせ、身近にいる人に思いやりのある行動を取ることができるようになるための判断力や心情を育てる。	★だれかがこまっているとき、あなたは どうしますか。 ○自分が「困っている子」だったら、どうしてほしいかを話し合わせる。
3年	【やさしさって】 B (6) 親切, 思いやり	16 持ってあげる？ 食べてあげる？	下校時に友達のリンドセルも持ってあげたり、給食の時間に友達の嫌いなナスを食べてあげたりする「わたし」の姿を通して、相手にとって本当の優しさとは何かを考えさせ、行動できるための判断力や心情を育てる。	★優しい人って、どんな人なのでしょう。 ○帰り道の場面、給食の場面のそれぞれで、役割演技をさせる。自分が「わたし」ならどう言うか、また、「わたし」に言われたときにどう思ったかを互いに伝え合わせる。
	【進んで親切に】 B (6) 親切, 思いやり	29 みんながくらし やすい町	町にいる親切な人が描かれた一枚絵を通して、思いやりの大切さを気づかせ、相手の置かれている状況を見て、自ら進んで親切にしようという実践意欲と態度を育てる。	★「みんながくらしやすい町」にするために、大切なことは何でしょう。 ○「みんながくらしやすい町」を見て、親切にしている人を見つけ、その人がどんな気持ちでその行いをしているかを話し合わせる。
4年	【思いやりの表し方】 B (6) 親切, 思いやり	9 本当の思いやり	骨折した友達を助ける「わたし」の姿を通して、親切や思いやりについて考えさせ、本当の思いやりとは相手の気持ちを察し、行動することが大切であるという判断力や心情を育てる。	★「本当の思いやり」とは、どんなものだと思いますか。 ○人に優しくするときに、大切なことは何かを考えさせ、発表させる。
	【さまざまな思いやり】 B (6) 親切, 思いやり	31 思いやりのかたち	視覚障害者の女性に手を貸す「わたし」の行動や思いを通して、親切や思いやりについて考えさせ、相手のことを自分のこととして想像することにより、親切な行為を進んで行おうとする実践意欲と態度を育てる。	★人を思いやるとは、どういうことでしょう。 ○「思いやりのかたち」を読み、三宅さんの「思いやりのかたち」と、「わたし」の「思いやりのかたち」は、同じだと思うか、違うと思うか考え、意見を出し合わせる。
5年	【親切とは】 B (7) 親切, 思いやり	22 道案内	道に迷っているおばあさんに親切にしようとした「ぼく」や中学生の姿を通して、親切な行いをするとときに大切なことは何かを考えさせ、自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考えて行動しようとする実践意欲と態度を育てる。	★親切な行いをするときに大切なことは、何だろう。 ○「道案内」を読み、「やっぱりいいことをした後は、気持ちがいいなあ。」とうなずき合ったとき、二人はどんなことを思っていたかを考えさせる。
	【相手の立場になって】 B (7) 親切, 思いやり	28 マークが伝えるもの	ピクトグラムについて学ぶ理子の姿を通して、ピクトグラムにどんな考えや思いが込められているか考えさせ、相手の立場に立って他者を思いやり、誰もが暮らしやすい社会を作っていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★ピクトグラムには、どんな考えや思いが込められているのだろう。 ○身の回りに、ピクトグラムと同じような考えで作られたものがないか出し合い、今の気持ちを書かせる。
6年	【相手を思いやっ てる】 B (7) 親切, 思いやり	15 今度は、ぼくの番	病氣と闘う木原先生のために、何かできることはないかと考え、はがきを書くことを決めた「ぼく」の姿を通して、相手を思う心はどのような行動で示せるかを考えさせ、自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考え、相手の立場に立って親切にしようとする判断力や心情を育	★相手を思う心は、どのような行動で示せるだろう。 ○「今度は、ぼくの番」を読み、「ぼく」の胸はどうしてドキドキと音を立てたのかを考えさせる。

年	【その人のために】 B(7) 親切, 思いやり	3 2 最後のおくり物	貧しくて養成所に通うことができないロベータに、密かにお金を送り続けるジョルジュじいさんと、体を壊したジョルジュじいさんを付ききりで看病し、ジョルジュじいさんの気持ちを思い涙を流すロベータの姿を通して、心からの思いやりや親切とは、どんなものかを考えさせ、自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考え、思いやりの心で行動しようとする判断力や心情を育てる。	★心からの思いやりや親切とは、どんなものだろう。 ○「ちっとも苦しくはなかったよ——、幸せを感じたくらいだ。」と言うジョルジュじいさんの言葉を聞いたとき、ロベータはどんなことを考えていたかを考えさせる。 ○ロベータが、おじいさんからもらった「最後のおくり物」とはどんなものか、話し合わせる。
	学年・主題・内容項目	教材名	ねらい	学習活動(考え・発表させる)
中 1	[思いやりを持って接する] B(6)思いやり, 感謝	8 席を譲ったけれど”	実中学生が高齢者に電車で席を譲ったときに起こったトラブルを記した投稿と、その投稿に対する複数の立場からの反響を通して、他者への思いやりについて考えさせ、思いやりの心をもって行動しようとする実践意欲と態度を育てる。	★思いやりの心をもって他者と接するとは、どういうことだろう。 ○中学生の取った行動に対して、おじいさんから「理解を超えた言葉」が返ってきたのは、どうしてかを話し合う。 ○思いやりの心をもって他者と接するとは、どういうことかを考える。
	[相手のことを考えて] B(6)思いやり, 感謝	15 父の言葉”	黒柳徹子さんが福祉やユニセフに携わる出発点となった少女時代の出来事を描いた文章を通して、他者への思いやりについて考えさせ、思いやりのある行動をしようとする実践意欲と態度を育てる。	★「相手のことを考えて行動する」とは、どういうことだろう。 ○相手のことを考えた行動とはどういうものかについて考える。 ○「私」が、赤い松葉づえの子が見えると走って横道に隠れたのは、どういう気持ちからかを話し合う ○相手のことを考えて行動するとき大切なのはどんなことかを考える。
	[思いやりを形に] B(6)思いやり, 感謝	35 旗	学校を休んでいる少女と、少女を思いやるクラスメートの姿を描いた物語を通して、思いやりを行動に表すことの大切さを考えさせ、相手を思いやって生活しようとする判断力や心情を育てる。	★思いやりの心について、考えを深めよう。 ○クラスメートたちは、どんな思いでクラス旗を掲げたのかを話し合う。 ○少女は、なぜこの町へ引っ越してきてよかったと心から思ったのかを考える。 ○少女にとってクラス旗は、どんな存在になったと思うか考える。
中 2	[思いやりとは] B(6)思いやり, 感謝	10 松葉づえ	松葉づえを突いている転校生に親切にしていたクラスメートたちが、しだいに態度を変えてしまう姿を通して、「思いやり」とはどういうものかを考えさせ、思いやりの心をもって行動しようとする判断力や心情を育てる。	★「思いやり」とは、どういうものだろう。 ○同じ班の「僕」、今井さん、上田さんが大野君に優しくできた理由、優しくできなくなった理由を話し合う。 ○伊藤君の、「みんな、誰のために大野を助けてやってたんだよ。」という言葉が心に大きく響いたとき、「僕」が考えていたのはどんなことかを考える。 ○「思いやり」とは、どういうものかを考える。
	[感謝の心を表す] B(6)思いやり, 感謝	31 気づかなかったこと	社会の否定的な面ばかりを見ていた生徒が、肯定的な面に気づく姿を描いた漫画を通して、人と接するとき大切なことは何かを考えさせ、他者への思いやりや感謝の気持ちをもって行動しようとする実践意欲と態度を育てる。	★日々の生活で、人と接するとき大切なことは、何だろう。 ○人の悪いところに目が向いてしまうときについて考える。 ○「気づかなかったこと」を読み、「私」が「こんな世の中、大嫌い。」と思っていたのはどうしてかについて考える。 ○「私」が気がついた「すごいこと」とは何かを考え、話し合う。
中 3	[感謝を持って] B(6)思いやり, 感謝	3 背番号10	挫折を乗り越えて野球部のキャプテンとしての役割を果たす生徒の物語を通して、自分と周りの人々がどのような思いで関わっているのかを考えさせ、思いやりや感謝の念をもって他者に向き合おうとする実践意欲や態度を育てる。	★自分と自分を取り巻く人々とは、どのような思いで関わっているのかについて、考えよう。 ○「僕」は、どんな思いで、父に「野球をやめて勉強に専念しようか。」とつぶやいたのかを話し合う。 ○チームメートに向かって深々と頭を下げた「僕」は、どんなことを思っていたかを考える。 ○「僕」と「僕」を取り巻く人々との関わりと、自分が日々の生活の中で相手を気遣って行動していることを関連づけて、学んだことを書く。
	[温かい思いやりをもって] B(6)思いやり, 感謝	33 出会いの輝き	留学時代の恩師や仲間との交流を回想した今道友信さんの随筆を読み、人と人とのつながりについて考えさせ、思いやりや感謝の気持ちをもって生きていこうとする心情を育てる。	★「いい思い出」とは、人々のどんな思いでできているのだろう。 ○「出会いの輝き」を読み、「私」は、どうして「何も言わず黙って座っていた」のかを考える。 ○筆者がいう「心の宝物」とは、どんなものかを話し合う。 ○あなたがこれまでにもらった「いい思い出」には、どんなものがあるかを紹介し合う。

